機関会議 ・ 学習会

協同組合交流会を開催 <9 月 7 日（金） 10 団体、約 50 名が参加>

2012 年の国際協同組合年を契機に、年に 1 度交流会を実施しています。今回は栃木県の漁業について理解を深めるため、栃木県漁業組合連合会（県内 23 漁協の連合会）を訪れました。栃木県は鮎の好漁場に恵まれ、主要な魚種となっています。見学した鮎の種苗センターは 2014 年の新設で、年間 800 万トンを超える稚鮎を生産しているとのことでした。

組合員・役職員学習会を開催

◎プラスチックの海洋汚染について <10 月 1 日（月） 参加者 68 名>

世界的な規模で広がり、社会問題となっているプラスチックごみ汚染について学習しました。

■演題:「プラスチック汚染　世界と日本」

■講師:　共同通信社 編集委員　井田徹治　氏

日本はアメリカについで世界第 2 位のプラごみ排出国。1 人当たり年間約 400kg を排出しています。私たち一人ひとりが暮らしを振り返り、ライフスタイルを転換していくことが強く求められています。

当日資料の大分合同新聞記事→

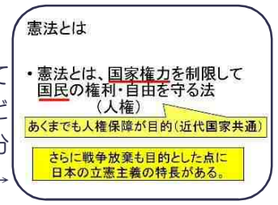
◎憲法学習会 <10 月 22 日（月） 参加者 62 名>

■演題:「憲法を考える！ ～9 条改正や国民投票法の問題点に触れながら～」

■講師:　日弁連憲法問題対策本部副本部長　弁護士　伊藤 真　氏

NHK 世論調査では、国民投票制度を「知らない」が過半数。改憲の必要性についても国民の賛否は割れています。私たちが主体的に「立憲主義」を実現するためにはどうしたらよいのか、現憲法の理念と意図するところや、国民投票制度について等、分かりやすく解説いただきました。

当日資料より→



2018 年度理事長・専務会議を開催 <10 月 26 日（金）>

■演題:「人を大切にする経営と生産性の向上」

■講師:　社会福祉法人 合掌苑理事長　森 一茂　氏

東京、神奈川で 3 つの介護・福祉事業所を展開する「合掌苑」の理念は「人は尊厳を持ち、権利として生きる」。理事長の森氏は、その理念が隅々まで行き渡る運営を実践しています。生き甲斐を持って働き続けられる「幸福度の高い組織」を目指し、様々な気づきを形にしていく過程をお聞きしました。

役員・幹部職員定期学習会を開催 <12 月 17 日（月）>

参加者各々の力量 UP を目的に 5 年目の取り組みとなりました。今期 7 回の開催を予定しています。

■演題:「安倍政権下のグローバリゼーション～私たちの暮らしにどう影響するか」

■講師:　高崎経済大学経済学部 教授　矢野 修一　氏

いざなぎ景気超えの好景気といわれる中、恩恵を受けている階層と、貧困へと押しやられる階層が顕著になっています。現政権下における経済政策が暮らしにどのように影響するのか、様々なデータから学びました。

お　し　ら　せ

2019 年新春賀詞交歓会
1 月 15 日(火)17 時～
宇都宮東武ホテルグランデ・松柏(1)

内容:TPP・TAG交渉の現状と食の安全性について
講師:東京大学大学院教授　鈴木 宜弘 氏
4月13日(土) 13時30分～　とちぎ福祉プラザ

事務所を移転しました

栃木県生活協同組合連合会　広報誌

発行日2019年1月5日

とちぎの生協

〒321-0968 宇都宮市中今泉 2 丁目 7-19　ADDRESS 204 号室
TEL028-680-5592　fax028-680-5593
http://tochigikenren-coop.com　E メール info@tochigikenren-coop.com

VOL. 27 冬号

ごあいさつ　栃木県生活協同組合連合会 会長理事 竹内 明子

明けましておめでとうございます。

昨年は栃木県生活協同組合連合会及び、加盟団体の活動にご支援、ご協力を頂き、感謝申し上げます。２０１９年も国連で定められた「誰１人とり残さない社会」の実現に向けて、活動を前進させて行きたいと思っております。少子高齢化が進む中、生協の事業にも考えていかねばならない課題が多くありますが、協同組合の果たすべき役割をしっかり認識し、果たして行く所存です。

多くの皆様に本年もご指導、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

防災・被災地支援活動

2018 年度災害対策交流会を開催 <7 月 10 日（火） 会員生協対象>

日本各地で豪雪や集中豪雨、40℃超の気温等、異常気象が頻発する中、以下を目的に開催しました。

①県内の気象特性を学び、気象の影響による自然災害の発生例を知ることで、
各事業所に起こりうる災害を予測し、未然防止策を考える。

②異常気象の原因となる地球温暖化の抑制のため、
事業所から排出される温室効果ガスの削減策を考える。

■講演:栃木県の気象特性・気象災害　地球温暖化による異常気象
講師:宇都宮地方気象台　調査官　石森 啓之　氏

■日本生協連・中央地連大規模災害対策協議会の報告
日本生協連 総合運営本部中央地連事務局　渡邊 大輔　氏

平成 30 年度 栃木県・鹿沼市総合防災訓練 <9 月 2 日（日）鹿沼市・粟野総合運動公園にて>

栃木県との「災害時における応急生活物資供給に関する協定」に基づき、よつ葉生協、とちぎコープが参加して応急物資供給訓練を行いました。また、栃木保健医療生協がテント内で血圧測定を行い、過去最高の 140 名以上の来場者がありました。その他、防災に係わる活動について、パネル展示を行いました。

大規模災害対策協議会に参加 <7 月 13 日（金） 日本生協連・中央地連主催>

本協議会は、大規模災害対策に係る活動の推進を目指した横のつながりとして、自主的に設立された組織です。災害対応として、生協の事業継続・早期再開とともに、行政への応急生活物資供給等、被災地支援を重要課題として位置づけています。今回は、西日本豪雨災害による会員生協事業への影響についての現状報告と、日生協の緊急物資備蓄庫の見学等を行いました。

緊急支援募金を実施しました

・7 月西日本豪雨災害支援募金　(7/12～9/20)
・北海道胆振東部地震緊急募金　(9/15～12/15)

募金額は、合わせて　¥2,760,219 となり、被災地の皆様にお届けしました。

ネットワーク活動

とちぎ食の安全ネットワーク

【構成】宇都宮大学名誉教授、全農栃木、酪農とちぎ、ﾌﾀﾊﾞ食品㈱、こいしや食品㈱、㈱荒井食品、㈱東武宇都宮百貨店、地婦連、労福協、JA 栃木中央会、よつ葉生協、とちぎｺｰﾌﾟ、生活ｸﾗﾌﾞ生協、生協連(事務局兼任)　【ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ】関東農政局 、栃木県、宇都宮市、栃木県食品産業協会

世話人会を定期的に開催し、食の安全に関わる課題共有等を目的に、毎回学習会を実施。また、県民に向けた学習会や、行政と協働のセミナー、フォーラム等を開催しました。

7 月 12 日(木) **◎食品安全セミナー** 〈参加者 69 名〉 栃木県・食の安全ネットワーク主催	■基調講演:**事業者だけでなく、消費者の皆さんにも知ってほしい、HACCP は食の安全になぜ必要か ～HACCP ってなんだろう～** 講師:宇都宮大学名誉教授　宇田 靖　氏 報告:県における HACCP 普及推進の取り組み
10 月 11 日(木) **◎とちぎ食品安全フォーラム** 〈参加者 140 名〉 栃木県・食の安全ネットワーク主催 宇都宮市共催	■基調講演: **知っていますか？食品表示の新ルール ～上手な活用方法とは～** 講師:宮城大学名誉教授　池戸 重信　氏 報告:栃木県の取り組み パネルディスカッション ファシリテーター:宇都宮大学名誉教授　宇田 靖　氏 パネラー:基調講演講師、消費者、県
12 月 6 日(木) **◎食品安全セミナー** 〈参加者 129 名〉 栃木県・食の安全ネットワーク主催 宇都宮市共催	■基調講演:**健康食品をセルフケアに役立てるためには？～健康食品の有効性と安全性について考える～** 講師:国立健康・栄養研究所食品保健機能研究部 部長 千葉 剛 氏 報告:健康食品について、県の取り組み
9 月 13 日(木) **◎全体会学習会** 〈参加者 81 名〉 とちぎ食の安全ネットワーク主催	 ■演題:**遺伝子組み換えと遺伝子操作について** 講師:市民バイオテクノロジー情報室　天笠 啓祐　氏 遺伝子組み換え食品、ゲノム編集作物等の出現による食の安全の問題点についてお話しいただきました。
◎世話人会学習会 ■講師: 宇都宮大学名誉教授 宇田 靖 氏	8月「**最近の食品添加物行政の動勢-アルミニウム、酸化チタンのリスク評価を巡って-**」 10月「**最近の食品添加物行政の動勢 (2) = 殺菌料の指定状況＝**」 12月「**マイクロプラスチックと食品汚染**」

とちぎ消費者ネットワーク

【構成】学識者、弁護士会、司法書士会、商工会議所連合会、商工会連合会、自治会連合会、消費生活ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ連絡協議会、NPO とちぎ消費生活ｻﾎﾟｰﾄﾈｯﾄ NPO とちぎ消費者ﾘﾝｸ、地婦連、ＪＡ栃木中央会、中央労金栃木県本部、とちぎｺｰﾌﾟ、よつ葉生協、生協連(事務局兼任)　【ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ】栃木県銀行協会

幹事会を定期的に開催し、消費者問題の啓発・共有のための学習会、協議、会員交流、地方消費者行政に係る要望の提出、県と協働の取り組みなどを通し、消費者問題に取り組みました。

幹事会での学習会	「相続法改正の概要」栃木県司法書士会理事　高橋 徹　氏 「個人事業主の増加と消費者被害～シェアリングエコノミーについて考える～」弁護士　小倉 崇徳 氏

◎栃木県の委託事業、2018 年度とちぎ消費者カレッジ

成人間もない若者が被害に合う確率が高いことから、県内の学生を対象に啓発講座を開催しています。

	開催会場	テーマ　(講師は弁護士および消費者問題専門家)
1	自治医科大学	悪徳商法にご用心！～若者を狙う悪徳商法の手口と対策～
2	白鷗大学	現代企業において問われるモラルとは～消費者の視点から～
3	宇都宮共和大学	事業者とのトラブルを避けるために
4	栃木県農業大学校	インターネットトラブルについて～ネットを賢く使おう！
5	文星芸術大学	契約の意味と消費者被害の実態
6･7	作新学院大学	悪徳商法にご用心！～若者を狙う悪徳商法の手口と対策～
8	足利大学	消費者トラブル予防講座～就職する前に知っておいて欲しいこと～
9	國學院大學栃木短期大学	消費者問題のイロハを学ぼう～就職する前に知っておいて欲しいこと～
10	作新学院大学女子短期大学部	ネットトラブルと契約・20 歳の契約～通信に関連する契約とトラブル～20 歳の契約とお金～

◎栃木県議会に、意見書の提出を要請

地方消費者行政を活性化してきた国からの交付金措置が、平成 29 年度で一区切りを迎え、予算の後退による地方消費者行政の後退が危ぶまれています。影響の調査や今後の予算措置等について、県議会から国へ要望するよう要請しました。(議案となり 6/13 に議会を通過)

◎NPO 法人とちぎ消費者リンクの活動

- 9 月 7 日・弁護士による無料電話相談を行い、10 件の相談がありました。
- 11 月 6 日・臨時総会を開催。適格消費者団体認定への申請に伴う定款の変更を行い、全会一致で承認されました。

行政関連、部会活動、その他

行政関連

◎2018 年度 くらし安全安心課との意見交換会・懇談会を開催 <8 月 7 日(火)>

課長の田崎様より「消費者行政を巡る最近の話題について」等ご報告いただきました。特に、県内消費生活センターに寄せられた相談件数が前年度比 26.9%の 19,923 件と大幅に増加したことから、注意喚起と地域の見守り活動強化のお願いがありました。今後も互いの理解を深めながら、協働の取り組みをすすめます。

◎行政主催による審議会・委員会等への参加 <7 月～12 月>

とちぎ農業“進化”躍動プラン中間検証委員会	とちぎ地産地消県民運動実行委員会幹事会	宇都宮市食品安全懇話会

福祉部会

地域生協、医療生協、社会福祉法人で構成する福祉部会では、昨年「暮らしのお役立ちのためのアンケート」を県内組合員を対象に実施し、11,210 名からの回答を得ました。今年度は、職員を対象とした「福祉的な取り組みに対しての意識調査アンケート」を実施することとしました。

くらし部会

生活クラブ生協、よつ葉生協、とちぎコープの地域三生協で構成するくらし部会では、ともに食育、環境問題等の暮らしの問題に取り組んでいます。活動の一環として毎年出展している以下のイベントでは、各生協ごとのテーマに基づいて、パネル展示・クイズ等を行いました。

◎10 月 14 日(日) 第 13 回うつのみや食育フェア ～宮っ子食べっこ元気っこ～

県連ブースには 500 名を超える来場者があり、食育についてともに考えました。

食育フェアの展示テーマ	
生活クラブ生協	牛乳を飲もう！
よつ葉生協	米と雑穀を食べよう
とちぎコープ	朝食をたべよう

◎12 月 2 日(日) ECO テック＆ライフ 2018

栃木県地球温暖化防止活動推進センター主催のとちぎ県最大の環境イベント。年に一度開催しています。

とちぎコープ…プラスチックごみ

「家庭から出る 1 週間分のプラごみの実物」と「市を対象に実施したゴミ処理に関するｱﾝｹｰﾄ結果」を展示しました。

よつ葉生協…生物多様性

有機の田んぼで「生き物調べ」を行いました。

生活クラブの グリーンシステム

使い捨てではなく「資源の循環を」をモットーに取り組んでいます。

その他

◎こども sunsun プロジェクト総会・発足式に参加しました 「基調講演講師:湯浅 誠 氏」<6 月 17 日(日)>

認定 NPO 法人とちぎボランティアネットワークを中心に、子どもの貧困撃退プロジェクトが発足されました。代表の矢野氏より「宇都宮の子どもの貧困は市民 1 人¥1,042 の寄付でなくなります。子どもの貧困をなくすことは夢ではない、みんなで 1 歩を踏み出しましょう」と報告、呼びかけがありました。また、基調講演「(宇都宮のみんなで)なんとかする、子どもの貧困」では、子どもを「社会的養護」する必要性について等、お話しいただきました。

◎他団体への参加、協働 7 月～12 月の活動		◎参加した講演会・シンポジウム等 7 月～12 月の活動	
栃木放送番組審議会	JA 栃木県大会	生活困窮者自立支援制度の概要と課題(栃木県労福協、連合栃木 共催ｾﾐﾅｰ)	第 34 回日本環境会議福島大会「原発と人権」
被爆者国際署名県民会議	日本ﾁｪｰﾝｽﾄｱ協会主催 栃木県生活者懇談会	生協は若年層にどう向き合うか(生協総合研究所主催)	性暴力を考える講演会(認定 NPO 法人ｳｨﾒﾝｽﾞ ﾊｳｽとちぎ主催)
栃木県社会福祉協議会幹事会	栃木県社会福祉ｾﾝﾀｰ理事会	NPO 法施行 20 周年ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ(とちぎ市民協働研究会主催)	「日本の人間の安全保障」指標発表記念シンポジウム(ユニセフ協会主催)
とちぎ協働推進研究会	とちぎ子育てﾈｯﾄﾜｰｸ、とちぎ協働まつり	住民主体の助け合い活動推進連絡会議	